

兵解協だより

全国解体工事業団体連合会第12回近畿ブロック会議が神戸で開催されました。



挨拶をする上原近畿ブロック長



挨拶をする木村全解工連副会長

第12回近畿ブロック会議が7月18日（水）ANAクラウンプラザホテル神戸で開催されました。全解工連からは、木村副会長、出野専務理事が出席。京都府、大阪府、奈良県、滋賀県、和歌山、兵庫県の協会関係者ら、20名が出席いたしました。会議の冒頭に上原近畿ブロック長が「まずこの場をお借しまして、大阪北部地震並びに西日本豪雨で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。1日も早い復旧・復興を願っております。本日は、お忙しい中、第12回近畿ブロック会議にご出席いただき誠にありがとうございます。この度、兵庫県解体工事業協会が近畿ブロック会議の幹事県となり、それに伴い、兵庫県解体工事業協会会長である私、上原が近畿ブロック長並びに全解工連の理事に就任することになりました。なにぶん不慣れではございますが、本日出席の皆様方のご協力を得ながら職務を全うしたいと思います。今後は我々解体業界の認知度を高め、社会に対する信頼を得る業界に発展させていく必要があります。そのためには、皆様方のご意見をお聞きし、情報交換を基に連携を密にし、近畿ブロック会議並びに全解工連の発展を願いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。最後になりましたが、本日出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。」と挨拶を行いました。

引き続き、全解工連木村副会長が「解体工事業の許可業種としての登録猶予期間がなくなりつつあります。いよいよ1年を切りました。我々全解工連が今、新しく何をすべか、新しく何を組み立てて行かなければならないのかを未だに悩んでいる最中であります。課題や提言が各地域、各ブロックから全解工連にあがってくるのを楽しみに待っている状態です。この近畿ブロックからも厳しいお言葉でもかまいませんので是非とも提言をぶつけて頂ければと思っております。今日の会議が実りあるものになりますよう心より祈念申し上げます。」と述べられました。

会議では、全解工連理事会、総会の報告事項説明のあと、各府県における近況報告、取り組み事項について情報交換が行われました。大阪北部地震によるブロック塀の撤去解体状況や、各自治体との防災協定締結に向け取り組み状況等が、報告されました。最後に全解工連の出野専務理事から解体工事業界の現状と、課題等について報告が行われました。